

今、何の病気が流行しているか！

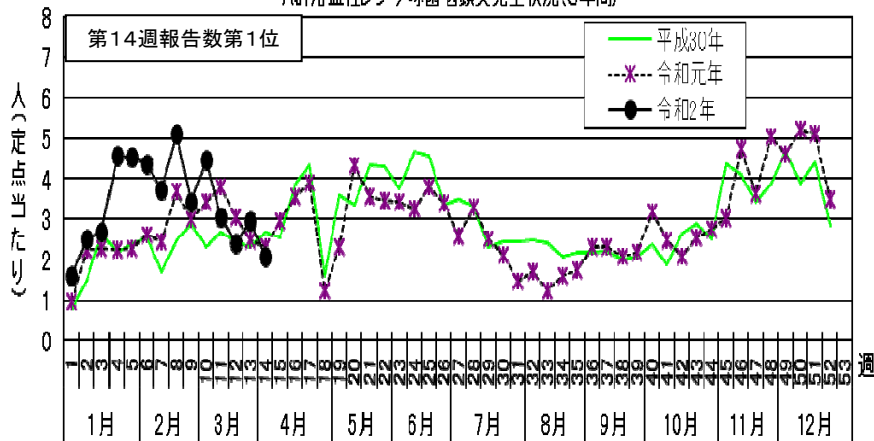
【感染症発生動向調査事業から】

令和2年3月30日（月）～令和2年4月5日（日）〔令和2年第14週〕の感染症発生状況

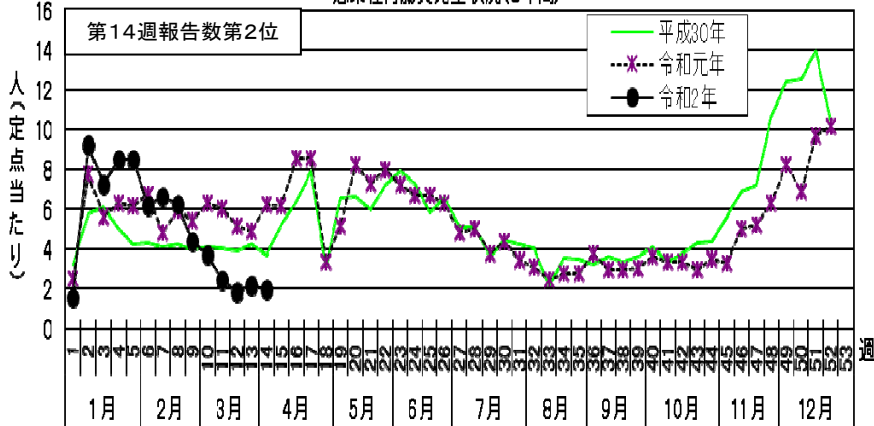
第14週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2) 感染性胃腸炎 3) 突発性発しんでした。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.08人と前週（2.95人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.92人と前週（2.14人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.35人と前週（0.27人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



自宅療養時の健康・感染管理～新型コロナウイルス感染症～

3月末より、首都圏を中心に新型コロナウイルス感染症の患者報告数が急増しています。地域での感染拡大により患者数がさらに増加した場合、医療機関の病床数が足りなくなり、全ての患者の方に入院していただくことができなくなる可能性があります。症状の軽い方は、自宅で療養をしていただくこともありますので、御自身や家族内での健康・感染管理を心がけましょう。

自宅療養時等の健康管理・感染管理

健康管理

- 「患者」⇒1日2回健康状態を確認し、1日1回保健所支所に連絡する
- 「同居者」⇒自分の健康状態を確認し、症状（発熱、咳、鼻水など）がある場合は保健所支所に連絡する

居住環境

- 患者は可能な限り個室で過ごす
- 家族が患者の部屋に出入りする際は、お互いマスクを着用し、部屋は適宜換気する
- 患者専用のタオルや食器を用意する
- 患者は最後に入浴する

同居者の感染管理

- 患者と接する人を限定し、お互いマスクを着用する
- マスクの外側には触れないように注意する
- 患者とは十分な距離を保ち、患者の部屋に出入りしたり汚物に触れた際は、手洗いと手指消毒を行う

清掃

- 患者が触れた場所や物は、家庭用アルコール除菌剤などを用いて1日1回以上拭く
- 衣類やシーツなどは通常の洗濯用洗剤で洗濯し、しっかり乾燥させる



川崎市
KAWASAKI CITY

発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域みまもり支援センター
 (福祉事務所・保健所支所)
 (問い合わせ先) 044-276-8250

令和2年4月7日作成